

令和
5年度

活動報告

肥後医育塾の開催

年間テーマ

『ちょっと気になるその何げない症状、
放置していませんか？』

県民に対して、定期的に医学・医療情報を提供し、県民とともに考える健康と医療を目指す目的で、一般財団法人化学及血清療法研究所並びに熊本日日新聞社との共催で、市民公開セミナーを年3回開催した。

年間テーマに「ちょっと気になるその何げない症状、放置していませんか？」を取り上げ、3回の講演会を熊本市で行うとともに、毎回、熊本日日新聞紙上で「肥後医育塾」特集を2頁に亘って掲載し、YouTube公開を並行して行った。

第1回は「その頭痛や腰痛、放置していませんか？」(R5.7.9、熊本市医師会館、聴講者140人)、第2回は「耳、鼻、のど、皮膚のその症状、気になりませんか？」(R5.11.4、くまもと県民交流館パレア、聴講者160人)、第3回は「サイレント・キラー(沈黙の病気)～無症状のまま進行する怖い病気～」(R6.3.2、熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール、聴講者230人)の演題で開催した。

後日、熊本日日新聞紙面で掲載し YouTube 公開を



第81回肥後医育塾公開セミナー

並行して行った。

また、特別企画として熊杏会と共催で、北里柴三郎記念イヤー2024記念講演会(R6.3.31、熊本城ホールシビックホール、聴講者500人)を開催した。

健康・医学・医療情報誌
「SPICE」の刊行

熊本日日新聞社が発行するタブロイド版の総合情報紙「あれんじ」が令和5年3月をもって休刊となり、4月から熊本日日新聞社が発行するタブロイド版の総合情報紙「SPICE」の第4金曜日号の見開き2頁を使い、健康・医学・医療並びに医学に隣接した学問分野の学術情報を県民に提供することとなった。内容としては、以前と同じく「元気の処方箋」(最新の医学医療記事)、「子育て応援クリニック」(小児科関連の医学医療記事)及び「慈愛の心・医心伝心」(女性医療人のリレーエッセイ)を掲載した。以下に「元気の処方箋」のテーマを記載する。

- 4月 慌てずに対応するため知っておきたい～子どもの救急医療
- 5月 大きく進んだ肺がん治療
- 6月 今、日本で最も多い大腸がん
- 7月 その人らしく暮らせるようサポートする～がん相談支援センター
- 8月 適切な治療や関わり～認知症
- 9月 乳がんで命を落とさないために知っておきたいこと
- 10月 検診を受け、見逃さないで糖尿病
- 11月 不妊症の原因にもなる子宮内膜症
- 12月 不妊治療～検査や治療の流れを知ろう
- 1月 速やかな受診・治療が大事～脳梗塞
- 2月 良質な眠りで健康に
- 3月 お尻から足にかけてしびれや痛み～腰部脊椎管狭窄症



第79回肥後医育塾公開セミナー



第80回肥後医育塾公開セミナー